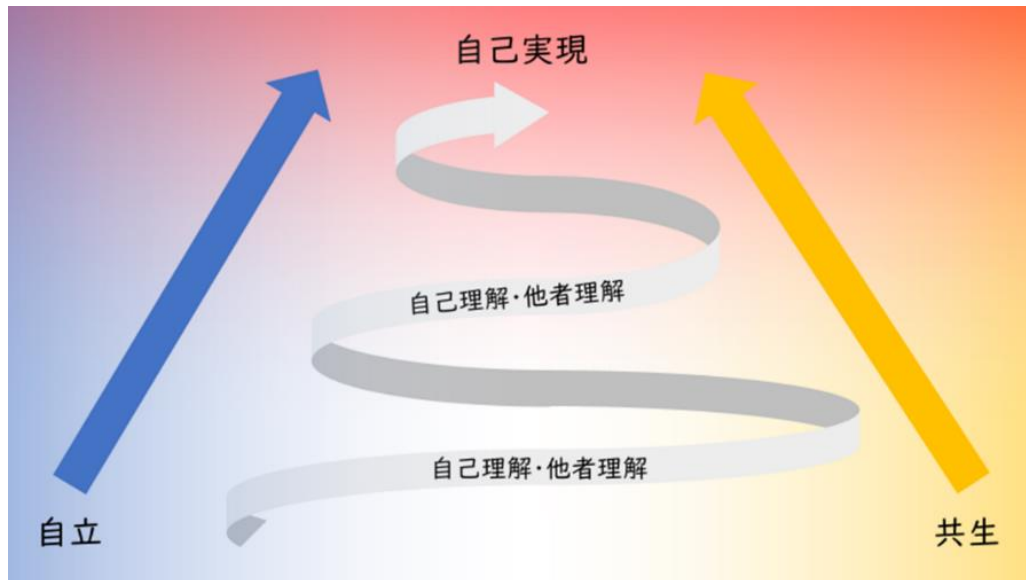


3 本校の校訓

校訓「自立・共生・自己実現」

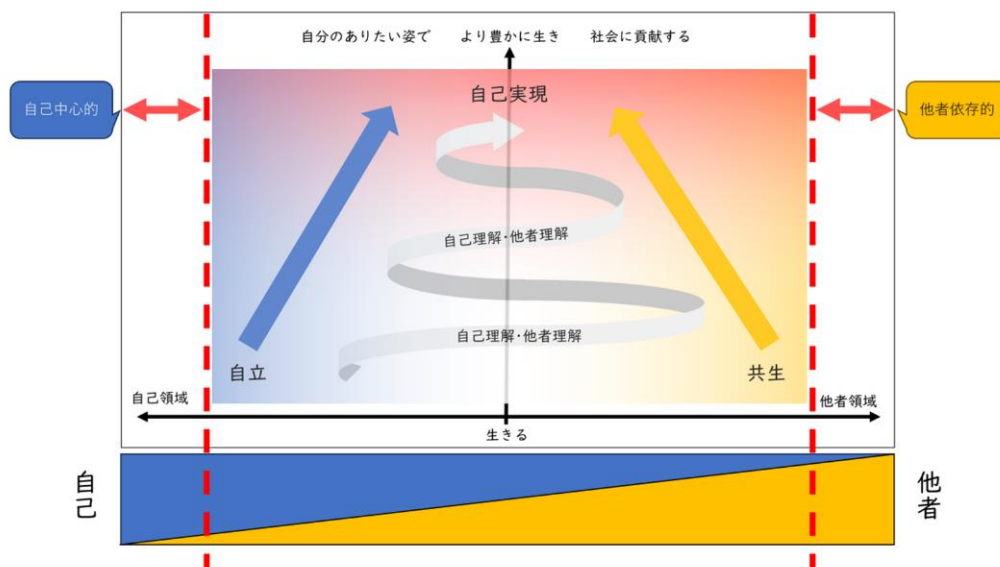
自己の領域と他者の領域の中で、自己理解と他者理解を繰り返しながら成長し、**自立する力と共に生きる力**を育み、自ら掲げた目標に向かって**自己実現**を目指していきます。

<校訓イメージ図>



校訓イメージ図の概念

自己理解・他者理解を基盤として、自己領域と他者領域が相互的、調和的に発達し、社会生活や自己実現へとステップアップする。



校訓イメージ図では、「自立・共生・自己実現」の3要素は、明確な境界を持たず、互いに重なり合いながら生徒の成長を支えるため、背景にはグラデーションを用いています。また、自己だけ、他者だけの領域（両端）に偏ることなく、自己と他者の領域で連続的につながっていることを表しています。

自己の領域では、自分らしく生きる力を育み、ありたい姿を描けるようになることを目指し、他者の領域では、社会の一員として貢献できる力を身につけることを目指します。そして、自己の目標に向かい、より豊かに生きていくということ表現しています。

4 校訓具体図

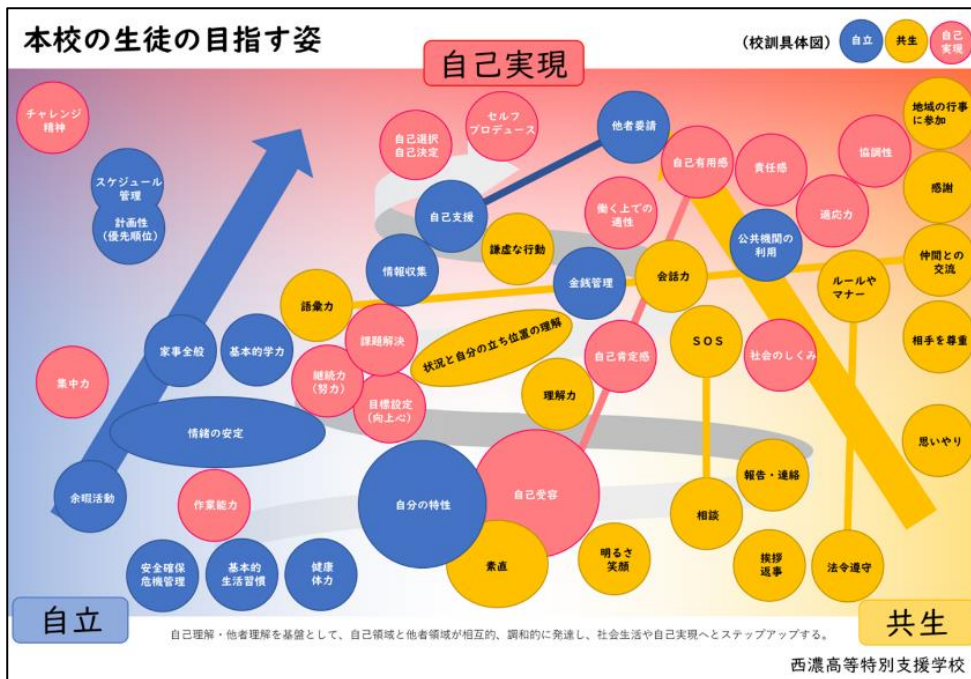
本校では、校訓である「自立・共生・自己実現」に基づき、生徒に身につけてほしい資質・能力を「校訓具体図」として示しています。図では、それぞれの資質・能力を「自立」「共生」「自己実現」の三つの領域に対応させ、青・黄・赤の色分けで視覚的に表現しています。

具体図の下部には、生活力や基礎的な社会性など「生きるために最低限必要な力」を配置し、上部には自己実現力・創造性・社会貢献力といった「より豊かに生きるための発展的な力」を体系的に配置しています。円の大きさはその資質・能力の重要度を示し、円同士を結ぶ線は、それらが互いに関連し合いながら育つことを表現しています。

本校は職業教育を軸とした学校ですが、「働くこと」そのものを教育の最終目的としているわけではありません。働くことはあくまで手段であり、本校が最も大切にしているのは、生徒が卒業後、自らの人生を主体的に描き、選び取り、実現していく“セルフプロデュース力”を育むことです。

生徒一人ひとりが「将来なりたい自分」を明確に思い描き、その実現に必要な力を本校で一歩ずつ確実に身につけていけるよう、教育活動を組み立てています。

<校訓具体図>



全職員による校訓具体図作成の過程

(自立チーム)



(共生チーム)



(自己実現チーム)

